

山梨県議会議員

白壁賢一 活動レポート 【発行元】白壁賢一

明日の山梨を元気に!

もっともっと

撮影場所：本栖湖
撮 影：白壁 賢一

Vol.56 2025/1



「県人口79万人割れ」 「富士トラム」「マイナ対応」 各種課題解決に求められる 積極的な対応を目指します



令和6年もあっという間に過ぎ去り、海外情勢はもとより、本県の課題解決についても“確”たる見通しはつかみ切れない混沌のままです。

とりわけ昨年末には本県人口が国、県の予測通り79万人を割りました。かつては県人口100万人を掲げていた県や市町村も具体的かつ実質的な展望は影をひそめているといった状況でもあります。

ただし、県民の皆様から県政のチェック、推進を負託されている私たち県議会議員にとって、これらの難題解決への努力は当然の責務です。

この中で昨年来、県の提案で論議されてい

た「富士山鉄道」計画は、その内容が「鉄輪」から「ゴムタイヤ」に修正され、新たな計画が検討されています。

これらの諸課題について、昨年の12月議会では県当局も様々な対応を発表していますが、各目標の実現の可否はいずれも結果待ちの状態です。当面の重要課題である「人口対策」、「リニア整備計画」などについては、県の施策を見守るだけでなく、提案を継続していく所存です。

山梨県議会議員

白壁 賢一

山梨県議会議員

白壁賢一 【しらかべ けんいち】

1960年生まれ。93年に33歳で旧河口湖町議に初当選、3期務める。2003年に富士河口湖町議に当選し2期。この間、議長などを歴任。07年に山梨県議会議員に初当選。2017年に第126代山梨県議会議員に初当選。2023年11月から自民党山梨県連副会長。

TEL 0555-73-3737 FAX 0555-73-3757

〒401-0301 山梨県南都留郡富士河口湖町船津1505

白壁賢一 公式サイト : <http://shirakabekenichi.com/>

白壁賢一 E-Mail : Shirakabe@kawaguchiko.ne.jp



山梨県補正予算について

12月定例県議会では84億2068万2千円の一般会計補正予算が提示され、賛成多数で可決されました。

補正予算案には、富士山における新交通システムの調査費や動物との衝突による電車の遅延を減らすための対策事業

費、非正規雇用労働者等の雇用を安定させるための就労支援などに予算を厚く配分しています。

県政を支える立場の議員として、各項目の取り組み状況は厳しくチェックしていきます。補正予算の主な内容を紹介します。

令和6年度12月補正予算主な事業

【富士山における新交通システムの検討、登山の利便性向上など】

富士山観光エコシステム整備
推進事業費

636万6千円

富士山における、将来を見据えた最適な交通システムの在り方について、より詳細な検討を進める。

具体的には、富士山5合目の来訪者コントロールを行うための方策として検討してきた鉄軌道に代えて、ゴムタイヤで走る新交通システム「富士トラム」に転換することとし、技術開発や検証、運行システムの地域適合性などの調査を行う。

富士山
吉田ルート通行
予約システム整備費

994万円

登山者の利便性向上と登山規制のより円滑な実施に向け、当日受付機能や対応言語の追加など、システムの機能改修を行う。



【誰もが活躍できる環境づくり】

女性デジタル人材育成・
就労支援緊急対策事業費

3,675万3千円

物価高騰に直面する非正規雇用労働者等の雇用の安定を図るため、子育て等で時間的制約の多い女性のライフスタイルに寄り添った、デジタルスキル習得のためのオンライン研修や研修修了者への就労支援を行う。

やまなしパラスポーツ
センター運営費

443万円

パラスポーツに取り組む機会と場を提供することにより、障害者の生きがいの創出及び社会参加の促進を図り、あわせて県民のパラスポーツに対する理解を促進するため、やまなしパラスポーツセンター（令和7年3月開館予定）の運営を行う。

里親支援センター環境整備
事業費補助金

1,405万2千円

里親制度の普及促進や里親への研修の実施など、里親支援を円滑に実施するため、社会福祉法人が行う設備整備等に対し助成する。



【県民生活の基盤確保、産業振興】

中央線沿線における
二ホンジカ対策事業費

9,162万8千円

JR中央線の定時性を確保し、遅延による県民生活等への影響を軽減するため、主な原因となる二ホンジカとの衝突減少に向けた取り組みを行う。

具体的には、ドローンと定点カメラによる二ホンジカの動線や生息域等の把握、沿線エリアにおける緊急的な捕獲の実施、市等が行う農産物に被害を与える二ホンジカの捕獲を支援する。

ぶどうAI選果機導入・
実証支援事業費補助金

3,680万円

海外市場における競争が激化する中、県産シャインマスカットの品質を保証し、輸出拡大による生産者の所得向上を図るため、国内初となる、AIを活用して房の大きさや糖度等を判別できる選果機の開発など全農県本部と選果機メーカーが共同で行う先進技術の実証を支援する。

【その他】

職員給与改定

40億3,428万7千円

人事委員会勧告等に鑑み、期末・勤勉手当など職員の給与改定を行う。



旧愛宕山
少年自然の家
解体工事費

3,317万6千円

県有資産の有効活用を図るため、旧愛宕山少年自然の家を解体する。

後期高齢者医療
財政安定化基金積立金

1億3,539万7千円

医療給付費の増加等による広域連合の財源不足を支援するために貸し付けた資金の償還金を基金に積み立てる。

地方消費税
清算金

39億7,957万円

地方消費税の増収に伴い、他の都道府県へ支払う清算金を増額する。

白壁賢一
写真活動
報告



令和6年11月7日 農政産業観光委員会県内調査
意見交換会 「地域農業の現状と課題について」身延町役場

早川水系発電管理事務所

令和6年9月定例
農政産業観光委員会
円安の弊害について 県の見解を問う

令和6年12月定例
農政産業観光委員会